

## 調査についてお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成 21 年度に策定を予定しております「府中市福祉計画」の基礎資料として、福祉全般の調査を実施します。

この調査は、府中市にお住まいの 20 歳以上の方 3,000 名を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 19 年 10 月 府中市

## 記入についてお願い

1. **封筒のあて名ご本人**について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。回答はできる限り、あて名ご本人がご記入ください。  
なお、あて名ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を 印で囲んでください。  
 の場合は回答内容等を記入してください。
4. の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に 印をつけられた方は、( )内に具体的な答えを記入してください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

月 日までに 返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

問合せ先

府中市福祉保健部地域福祉推進課福祉計画担当

TEL 042 - 335 - 4182

はじめに、あなたご自身のことをおたずねします

F 1 あなたの性別は次のうちどれですか。(1つに )

1. 男性 2. 女性

F 2 あなたの年齢は次のうちどれですか。(1つに )

\* 平成19年10月1日現在の年齢でお答えください。

1. 20～24歳 6. 45～49歳 11. 70～74歳  
2. 25～29歳 7. 50～54歳 12. 75～79歳  
3. 30～34歳 8. 55～59歳 13. 80～84歳  
4. 35～39歳 9. 60～64歳 14. 85～89歳  
5. 40～44歳 10. 65～69歳 15. 90歳以上

F 3 あなたのご職業は次のうちどれですか。(1つに )

1. 自営業・自由業 5. パート・内職などの仕事  
2. 企業の社員・役員(従業員50人未満) 6. 専業主婦(夫)  
3. 企業の社員・役員(従業員50人以上) 7. 無職  
4. 公務員 8. その他  
〔具体的に: \_\_\_\_\_〕

F 4 世帯についておたずねします。

あなたと同居している方はどなたですか。(いくつでも )

\* 2世帯住宅は同居としてお答えください。

\* 配偶者の親族を含めてお答えください。

1. ひとり暮らし(自分のみ) 5. 祖父、祖母  
2. 配偶者(夫または妻) 6. 兄弟・姉妹  
3. 息子、娘(息子の妻、娘の夫も含む) 7. その他〔具体的に: \_\_\_\_\_〕  
4. 父、母

付問 F 4で「2. 配偶者」～「6. その他」と答えた方におたずねします。  
世帯の人数はあなたを含めて何人ですか。(1つに )

1. 2人 4. 5人  
2. 3人 5. 6人以上  
3. 4人

F 5 現在、あなた自身、もしくは同居や市内にお住まいの家族の中に、次のような方はいますか。(いくつでも )

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1 . 乳児 ( 1 歳未満 )   | 5 . 65 歳以上の方          |
| 2 . 乳児を除く小学校入学前の幼児 | 6 . 身体・知的・精神などの障害のある方 |
| 3 . 小学生            | 7 . 介護・介助を必要とする方      |
| 4 . 中学生・高校生        | 8 . いずれもない            |

F 6 あなたはどちらにお住まいですか。  内にご記入ください。

町 { 白糸台、美好町、本宿町、西府町の方は右欄にもご記入ください }  丁目

F 7 あなたは府中市にお住まいになってから何年になりますか。( 1 つに )

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1 . 1 年未満         | 5 . 1 0 年以上 2 0 年未満 |
| 2 . 1 年以上 3 年未満   | 6 . 2 0 年以上 3 0 年未満 |
| 3 . 3 年以上 5 年未満   | 7 . 3 0 年以上         |
| 4 . 5 年以上 1 0 年未満 |                     |

F 8 あなたのお住まいについて、次の(ア)～(ウ)についておたずねします。

(ア) お住まいの所有は次のうちどれですか。( 1 つに )

- 1 . 持ち家
- 2 . 民間賃貸住宅
- 3 . 公的賃貸住宅
- 4 . その他〔具体的に： ]

(イ) お住まいの形態は次のうちどれですか。( 1 つに )

- 1 . 集合住宅 (エレベーターなし)
- 2 . 集合住宅 (エレベーターあり)
- 3 . 戸建て住宅・2階建てタウンハウス
- 4 . その他〔具体的に： ]

(ウ) (イ) で「 1 . 集合住宅 (エレベーターなし)」と答えた方にお聞きします。

お住まいは何階ですか。( 1 つに )

- |         |           |
|---------|-----------|
| 1 . 1 階 | 4 . 4 階   |
| 2 . 2 階 | 5 . 5 階以上 |
| 3 . 3 階 |           |

日頃の地域活動やボランティア活動についておたずねします

問1 あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。(1つに )

1. よく参加している
2. 時々参加している
3. あまり参加していない
4. まったく参加していない

付問1 問1で「1」または「2」と答えた方におたずねします。  
どのような活動や行事に参加していますか。(いくつでも )

1. 町内会・自治会などの活動
2. 子ども会やPTAの活動
3. 老人クラブの活動
4. 婦人会の活動
5. 地域でのボランティア活動
6. 防災訓練や交通安全運動
7. お祭りや運動会などのレクリエーション活動
8. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕

付問2 付問1で「5. 地域でのボランティア活動」と答えた方におたずねします。  
参加しているボランティア活動の分野は何ですか。(いくつでも )

1. 高齢者に関する分野
2. 障害のある人に関する分野
3. 子育てに関する分野
4. 保健に関する分野
5. 環境美化に関する分野
6. まちづくりに関する分野
7. 防犯、防災や交通安全の分野
8. 国際交流に関する分野
9. 人権・男女共同参画に関する分野
10. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕

問2 あなたが今後、お住まいの地域で活動する場合、どのような活動に参加したいと思いますか。(いくつでも )

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 自分の楽しみが得られる活動     | 7. 隣近所の人と協力しあえる活動     |
| 2. 興味ある知識や教養が得られる活動  | 8. 家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動 |
| 3. 自分の知識や経験をいかせる活動   | 9. 地域や社会に役立つ活動        |
| 4. 生きがいや健康づくりができる活動  | 10. 行政への協力や地域自治に関わる活動 |
| 5. 余暇時間を充実させる活動      | 11. とくにない             |
| 6. 仲間づくりや親しい友人ができる活動 |                       |

問3 近所に、高齢者や障害のある方の介助・介護、子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けをしたいと思いますか。(いくつでも )

1. 安否確認の声かけ
2. ちょっとした買い物やゴミ出し
3. 食事や掃除・洗濯の手伝い
4. 通院の送迎や外出の手助け
5. 子どもの預かり
6. 話し相手や相談相手
7. 災害時の避難の手助け
8. 具合がよくないときに、病院等に連絡する
9. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕
10. とくにない・わからない

問4 あなたは、お住まいの地域で活動する場合、どのような環境や条件が必要だと思いますか。(3つまで )

1. 身近なところや便利なところに活動の場がある
2. 夜間や休日または平日昼間など自分にあった時間帯に参加できる
3. 子どもの面倒や介護・介助を代わってもらえる
4. 友人や家族と一緒に参加できる
5. 家族や職場の理解・協力が得られる
6. 自分の所属する学校や職場で活動が行われている
7. 身近な団体や活動内容に関する情報が手に入る
8. 活動資金の補助、援助がある
9. 活動に参加することでメリットが得られる(報酬など)
10. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕
11. 条件によらず参加したくない

問5 あなたは、地域で安心して生活していくために、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いますか。(1つに )

1. 必要だと思う
2. ある程度必要だと思う
3. あまり必要だとは思わない
4. 必要だとは思わない
5. わからない

付問 問5で「1」または「2」と答えた方におたずねします。住民の協力関係を築くためにはどのようなことが必要だと思いますか。(3つまで )

1. 自ら進んで日頃から住民相互のつながりをもつように心がけること
2. 町内会・自治会が中心となって交流活動を進めること
3. ボランティア団体やNPO(民間非営利組織)の活動を活発にすること
4. 地域の人が気軽に集まる場所や地域活動の拠点となる場を作ること
5. 地域の企業や団体などに地域活動への参加を呼びかけること
6. 地域活動に関する具体的な情報を広く紹介すること
7. 地域活動を担う、リーダーとなる人材を育成すること
8. 行政や社会福祉協議会が地域活動への支援やコーディネートをすること
9. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕
10. わからない

問6 あなたは、高齢者や障害のある方の介助・介護、子育てで困りごとがあった場合、地域住民による協力を受けたいと思いますか。(1つに )

1. 受けたい
2. どちらかといえば受けたい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば受けたくない
5. 受けたくない

付問 問6で「4」または「5」と答えた方におたずねします。  
あなたが受けたくないと思う理由は何ですか。(いくつでも )

1. プライバシーが守られるか不安だから
2. 地域の人に気をつかうことが嫌だから
3. 他人の世話にはなりたくないから
4. 必要性を感じないから
5. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕

## 日頃のお悩みと相談についておたずねします

問7 あなた、あるいはご家族は現在、日常生活においてどのような悩みや不安を感じていますか。(3つまで)

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| 1. 自分や家族の健康のこと | 8. 住宅のこと             |
| 2. 自分や家族の老後のこと | 9. 地域の治安のこと          |
| 3. 生きがいに関すること  | 10. 災害時の備えに関すること     |
| 4. 子育てに関すること   | 11. 差別や偏見、人権侵害に関すること |
| 5. 介護の問題       | 12. その他              |
| 6. 経済的な問題      | [具体的に:]              |
| 7. 隣近所との関係     | 13. とくにない            |

付問 災害時を想定した場合、あなたご自身やご家族について、どのような点に不安を感じますか。(3つまで)

1. 所在、安否の確認
2. 救助、避難誘導
3. 避難経路、避難方法
4. 避難生活
5. 正確な情報の入手
6. 生活物資、乳幼児・高齢者等向けの物資
7. 医療機関、診療、薬の入手
8. 精神的なストレス
9. 家屋の強度や家具の転倒防止
10. その他〔具体的に:]

問8 あなたやご家族が、介助・介護など福祉に関することや病気で困ったときに、地域で相談したり頼ったりできるところがありますか。(いくつでも)

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| 1. 近隣住民・町内会の人  | 7. 保育所、幼稚園、学校の先生や保護者 |
| 2. 近所(市内在住)の親族 | 8. ケアマネージャーや福祉施設の関係者 |
| 3. 近所(市内在住)の友人 | 9. かかりつけ医や保健師など医療関係者 |
| 4. 民生委員・児童委員   | 10. その他              |
| 5. 行政の相談窓口*    | [具体的に:]              |
| 6. 社会福祉協議会     | 11. 相談できる相手がいない      |

\* 行政の相談窓口は、市役所、保健センター、女性センター、児童相談所、保健所等の窓口を示します。

問9 市や都、社会福祉協議会には、福祉についての相談窓口が設置されています。次の相談事業についてご存知ですか。(いくつでも )

- |                   |                                |
|-------------------|--------------------------------|
| 1. 市役所の相談窓口       | 10. 地域生活支援センター「み～な」「あけぼの」「プラザ」 |
| 2. 民生委員・児童委員      | 11. 子ども家庭支援センター「たちち」「しらとり」     |
| 3. オンブズパーソン制度     | 12. スクエア21・女性センター              |
| 4. 地域包括支援センター     | 13. 社会福祉協議会(ふれあい福祉相談室など)       |
| 5. 在宅介護支援センター     | 14. 保健センター                     |
| 6. 権利擁護センターふちゅう   | 15. ボランティアセンター                 |
| 7. 心身障害者福祉センター    | 16. 人材育成センター                   |
| 8. 発達支援センター「あゆの子」 | 17. 消費生活相談室                    |
| 9. 児童相談所          | 18. 知っているものはない                 |

問10 保育や子育て支援、高齢者や障害のある方への福祉サービス、健康づくり、ボランティア活動など、市の福祉に関する情報についておたずねします。

(ア) 日頃の情報の入手先はどこですか。(3つまで )

- |                    |                             |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 家族や親類           | 8. 民生委員・児童委員、ケアマネージャー、保育士など |
| 2. 近隣の人、友人、知人      | 9. NPO等の民間団体                |
| 3. 町内の回覧板          | 10. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等          |
| 4. 広報ふちゅうや市のパンフレット | 11. インターネット(市のホームページ以外)     |
| 5. 市のホームページ        | 12. その他〔具体的に: ]             |
| 6. 行政の相談窓口         | 13. 情報を得たことはない              |
| 7. 社会福祉協議会         |                             |

(イ) 今後、希望する情報の入手先はどこですか。(3つまで )

- |                    |                             |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 家族や親類           | 8. 民生委員・児童委員、ケアマネージャー、保育士など |
| 2. 近隣の人、友人、知人      | 9. NPO等の民間団体                |
| 3. 町内の回覧板          | 10. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等          |
| 4. 広報ふちゅうや市のパンフレット | 11. インターネット(市のホームページ以外)     |
| 5. 市のホームページ        | 12. その他〔具体的に: ]             |
| 6. 行政の相談窓口         | 13. 情報を必要としていない             |
| 7. 社会福祉協議会         |                             |



## 地域との関わりについておたずねします

問11 あなたは、隣近所の人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに )

1. 個人的なことを相談し合える人がいる
2. さしさわりのないことなら、話せる相手がいる
3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる
4. ほとんど近所づきあいをしない

付問 問11で「3」または「4」と答えた方におたずねします。  
主な理由をお答えください。(2つまで )

1. 仕事や家事・育児などで忙しく時間がないから
2. 引っ越してきて間もないから
3. 普段つきあう機会がないから
4. 同世代の人が近くにいないから
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから
6. あまりかかわりをもたたくないから
7. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕

問12 あなたにとって、住民が互いに助け合うべき「地域」とはどのような範囲だと思いますか。次の中でもっとも近いものをお答えください。(1つに )

1. 隣近所
2. 町内会・自治会
3. 小学校区
4. 中学校区
5. 市全体
6. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕

問13 現在、府中市の建築物や公共交通機関、情報案内、公園や道路などについて、障害のある人や妊婦、子どもづれ、高齢者等が利用しやすいように整備されていると思いますか。(1)~(11)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つつ つをつけてください。

		整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	整備されていない	整備の必要を感じない
建築物	(1) 車いすの方やだれもが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げる)	1	2	3	4	5
	(2) 公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター	1	2	3	4	5
	(3) 車いすの方、乳幼児を連れた方などだれもが使いやすいトイレ	1	2	3	4	5
道路・交通機関等	(4) 歩きやすいように、障害物(商品や看板、放置自転車、電柱等)が取り除かれた歩道や道路	1	2	3	4	5
	(5) 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	1	2	3	4	5
	(6) 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	1	2	3	4	5
	(7) 障害者用の駐車場	1	2	3	4	5
情報案内など	(8) 大きな文字、絵、複数の言語を用いた誰もがわかりやすい案内標示	1	2	3	4	5
	(9) 手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設	1	2	3	4	5
	(10) 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1	2	3	4	5
全体	(11) (1)~(10)や公園、道路などを含むまち全体のバリアフリー環境	1	2	3	4	5

#### バリアフリー

障害のある人が社会生活をしていくうえで妨げとなる障壁を除去するという意味で、建物や道路などの段差など、生活環境上の物理的障壁の除去のこと。

「心のバリアフリー」といった表現で、より広く社会参加を困難にしている社会的・制度的・心理的な全ての障壁の除去という意味でも用いる。

問14 あなたは、街や近所で、障害のある人や高齢者、妊婦、乳幼児を連れた方などに、次のようなお手伝いをしたことがありますか。(いくつでも )

1. 乗り物で席を譲った
2. 荷物を持った
3. 階段の上り下りや道路の横断、電車・バスの乗り降りに手を貸した
4. 車いすやベビーカーを押したり、持ち上げたりするのを手伝った
5. 道を教えた
6. 扉を開けた
7. 話しかけたり、声をかけたりした
8. 車で送り迎えをするなど、外出の手助けをした
9. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕
10. 何もしたことがない

付問 問14で「10. 何もしたことがない」と答えた方におたずねします。  
何もしたことがない理由は何ですか。(いくつでも )

1. 忙しく、急いでいたから
2. 手伝いをするに、気恥ずかしさを感じるから
3. おせっかいのような気がするから
4. どのように手助けしてよいか、わからないから
5. 専門の人や関係者にまかせた方がよいと思うから
6. 困っているのを見かけたり、出会ったりしたことがないから
7. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕

問15 人にやさしいまちづくりをすすめるためには、高齢者や障害者の方々が利用しやすい建物等の整備をすすめるだけでなく、市民一人ひとりの理解と協力、いわゆる「心のバリアフリー」を実現していくことが大切です。そのためにどのようなことが必要だと思いますか。(2つまで )

1. 広報紙、テレビ等を通じて、多くの人が多様な情報にふれる機会が増えること
2. 学校で障害者とともに学習すること等により、子どもたちから自然に接する環境で過ごすこと
3. 地域の行事等により、市民が障害者と直接交流する機会が増えること
4. 障害者等へのボランティア活動に多くの人に参加するようになること
5. 学校で、車いす体験をしたり、手話や介助方法等を覚える授業が活発に行われるようになること
6. 職場で、車いす体験をしたり、手話や介助方法等を覚える研修が活発に行われるようになること
7. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕

## 府中市の福祉についての満足度をおたずねします

問16 あなたにとって、理想とする地域像はどのようなものですか。あなたの考えに近いものを選んでください。(3つまで)

1. 子どもがいきいきと育つまち
2. 高齢者が暮らしやすいまち
3. 障害のある方が暮らしやすいまち
4. 困ったときに隣近所で助け合えるまち
5. 福祉施設が整備されているまち
6. 市民の福祉活動が活発に行われているまち
7. 人権が尊重されるまち

問17 あなたが現在、お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。(1)～(10)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つつをつけてください。

	満足	どちらでもない	満足していない
(1) 隣近所などとのつきあい	1	2	3
(2) 町内会・自治会の活動	1	2	3
(3) 地域の交流	1	2	3
(4) サークルやボランティアの活動	1	2	3
(5) 地域の防災対策	1	2	3
(6) 保健福祉サービス	1	2	3
(7) 相談できる体制	1	2	3
(8) 買い物などの便利さ	1	2	3
(9) 道路や交通機関などの使いやすさ	1	2	3
(10) 公的な手続きの便利さ	1	2	3

## 福祉に対する考え方についておたずねします

問18 あなたは次にあげる言葉を聞いたことがありますか。(1)~(7)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつをつけてください。

	内容まで知っている	言葉だけ知っている	聞いたことがない
(1) ノーマライゼーション	1	2	3
(2) バリアフリー	1	2	3
(3) ユニバーサル・デザイン	1	2	3
(4) 成年後見制度	1	2	3
(5) 地域福祉権利擁護事業	1	2	3
(6) 福祉サービス第三者評価制度	1	2	3
(7) 介護予防	1	2	3

### ＜言葉の解説＞

**ノーマライゼーション**：障害のある人となない人が、地域社会の中でともに生きることが当然の姿であるという考え方

**バリアフリー**：9頁をご覧ください

**ユニバーサル・デザイン**：道路・住宅・製品などを設計製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、だれでもが使えるものを作るという考え方

**成年後見制度**：認知症、知的障害や精神障害のある人など、判断能力が十分ではない方が日常生活における不利益を受けないよう、本人の権利を守り支援する制度

**地域福祉権利擁護事業**：認知症、知的障害や精神障害のある人など、判断能力が十分ではない方へ福祉サービスの利用手続に関する相談・援助や日常的な金銭管理等を行う制度

**福祉サービス第三者評価制度**：事業者の提供する福祉サービスを当事者（事業者及び利用者）以外の公正・中立な評価機関が評価を行い、評価結果を公表する制度

**介護予防**：介護が必要となる要因を早期に発見し、筋力向上トレーニングや転倒予防、食生活の改善など心身の衰えを予防する工夫や取り組みを行うこと

問19 あなたは「福祉」について、どのようなイメージをお持ちですか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(1つに )

1. 所得が少ないなどの事情から生活することが困難な人を国、都、あるいは市が救済すること
2. 高齢者、障害者、児童などのために、国、都、あるいは市が必要な施設を整備して支援すること
3. 日常生活を過ごすのに、困っている人がいたら、みんなの善意で助けること
4. 市民の誰もが利用する可能性のある社会サービスのこと
5. わからない
6. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕

問20 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。(1)～(7)のそれぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものに1つずつをつけてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	全く思わない
(1) ホームレスの問題は、本人だけでなく、社会全体の問題だと感じる	1	2	3	4	5
(2) 市は、ホームレスの生活相談や社会復帰のためのカウンセリングを行うべきである	1	2	3	4	5
(3) 生活保護受給者に対する偏見や差別があると感じる	1	2	3	4	5
(4) ひきこもりやニートは、本人だけでなく、社会全体の問題だと感じる	1	2	3	4	5
(5) 児童や高齢者の虐待を防ぐために、地域でのつながりが重要である	1	2	3	4	5
(6) DV被害を防ぎ、被害者を支援するために、地域でのつながりが重要である	1	2	3	4	5
(7) ひとり親家庭の自立を支援するために、地域でのつながりが重要である	1	2	3	4	5

#### DV (ドメスティック・バイオレンス)

夫や恋人など親密な関係にある(またはあった)男性から女性に対して振るわれる暴力。身体的な暴力だけでなく、精神的、経済的、性的な暴力などあらゆる暴力が含まれる。

## 福祉施策についておたずねします

40歳以上の方におたずねします（40歳未満の方は問22にお進みください）

問21 あなたは、高齢期に向けて（定年退職等で仕事をやめたときなど）どのような地域活動支援を市に望みますか。（2つまで）

1. 子どもの安全や子育てに貢献できる活動への支援
2. 地域住民と協働できる機会の提供
3. ヘルパー等高齢者の援助を行う活動への支援
4. 都会を離れ地方へ移住する際のアドバイス
5. これまでの仕事上の経験をいかした新規事業の立ち上げへの支援
6. 生涯学習活動への支援
7. その他〔具体的に： 〕
8. とくにない

全員におたずねします

問22 高齢者サービスに介護保険が導入されて7年になり、介護保険サービスの利用が普及してきました。今後の介護保険サービスと保険料について、あなたのお考えに一番近いものは次のうちどれですか。（1つに）

\* 40歳未満の方もお答えください。

1. 保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい
2. 保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である
3. 介護保険サービスを抑えても保険料が低いほうがよい
4. どちらともいえない

問23 地域の福祉が充実するためには行政サービスだけでなく、住民の参加が必要だという考えがあります。あなたは住民参加の方法としてどのようなことが必要だと思いますか。（1つに）

1. 町内会・自治会や子ども会など地域単位の組織活動を活発にし、地域住民同士が横のつながりを保つこと
2. 行政と住民の意見交換の機会を設けること
3. より多くの住民がボランティア活動に参加すること
4. 講習会などによる地域づくりへの意識啓発などを進めること
5. その他〔具体的に： 〕
6. わからない

問24 府中市では、健康管理のためにさまざまな事業を行っています。将来に向けて、どのような健康づくりの事業に参加してみたいと思いますか。(2つまで)

1. 交流、レクリエーション
2. 骨折予防などの寝たきり予防生活機能の維持・向上
3. 筋力トレーニングなど
4. **生活習慣病の予防**
5. 認知症の予防、ケア
6. 歯科・口腔ケア
7. 栄養や食事の指導
8. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕
9. とくにない

問25 「利用者本位の福祉」を実現するために、府中市ではどのような施策に優先して取り組むべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをお答えください。(3つまで)

1. 福祉サービスに関する情報提供を充実する
2. 団塊世代など退職後の人々が地域活動で力を生かせる機会を増やす
3. ボランティアの育成や活動への支援を充実する
4. 的確な相談が受けられるようにする
5. 苦情に対して、適切な対応ができるようにする
6. サービスの内容を評価し、改善する仕組みを充実する
7. 行政やサービス事業者の情報公開を進める
8. 市民が、福祉に関わる法律や制度について、学習できる機会や場を提供する
9. 利用者の権利を保護する仕組みをつくる
10. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕
11. わからない

問26 最後に、府中市の福祉やまちづくりへのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました